

活動報告書（令和1年度）

ヘルスケア産業研究会

1. 会員数（令和2年3月末）
50企業・団体 68会員

2. 情報提供

ア 第1回セミナー及びヘルスケア製品開発棟見学会の開催

繊維・衣料や健康管理システム分野での研究開発を目指す企業等を対象に、講演及びヘルスケア製品開発拠点の施設見学会を行った。

| | |
|-----|--|
| 日時 | 7月26日(金)午後1時30分～3時30分 |
| 会場 | 富山県産業技術研究開発センター 生活工学研究所 ホール |
| 参加者 | 45名 |
| 内容 | <p>○講演</p> <p>演題 生体情報の計測・解析とその応用 講師 公立大学法人 富山県立大学工学部 電子・情報工学科 教授 唐山 英明 氏</p> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">① 脳情報インターフェース② 胃電図計測③ レム睡眠行動障害の判別④ 看工連携研究 <p>質疑応答</p> <p>○新施設紹介「ヘルスケア製品開発拠点について」 富山県産業技術研究開発センター 生活工学研究所 所長 金丸 亮二 氏</p> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">① ヘルスケア製品開発等施設紹介<ul style="list-style-type: none">・生活環境シミュレーター室・人間行動観察測定室・女性型サーマルマネキン・フォースプレート型トレッドミル・体圧分布測定装置・動作解析装置 |

| | |
|--|--|
| | <p>・快適感覚計測システム</p> <p>② ヘルスケア製品開発棟施設見学</p> <p>質疑応答</p> |
|--|--|



会場



挨拶



講演



施設紹介



施設見学 フォースプレート型トレッドミル



人間行動観察測定室

イ 第2回セミナー及びヘルスケア製品開発棟見学会の開催

| | |
|-----|-------------------------|
| 日時 | 9月20日(金)10~12時 |
| 会場 | 富山県産業技術研究開発センター 生活工学研究所 |
| 参加者 | 61名 |

| | |
|----|--|
| 内容 | <p>○講演</p> <p>演題 Society5.0時代のヘルスケア</p> <p>講師 (一社)日本経済団体連合会 産業技術本部 統括主幹 小川 尚子 氏</p> <p>概要</p> <p>① Society5.0とは</p> <p>② Society5.0時代のヘルスケア</p> <p>質疑応答</p> <p>○新施設紹介「ヘルスケア製品開発拠点について」</p> <p>富山県産業技術研究開発センター 生活工学研究所 所長 金丸 亮二 氏</p> <p>概要</p> <p>① ヘルスケア製品開発等施設紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活環境シミュレーター室 ・人間行動観察測定室 ・女性型サーマルマネキン ・フォースプレート型トレッドミル ・体圧分布測定装置 ・動作解析装置 ・快適感覚計測システム <p>② ヘルスケア製品開発棟施設見学</p> |
|----|--|



会場



挨拶



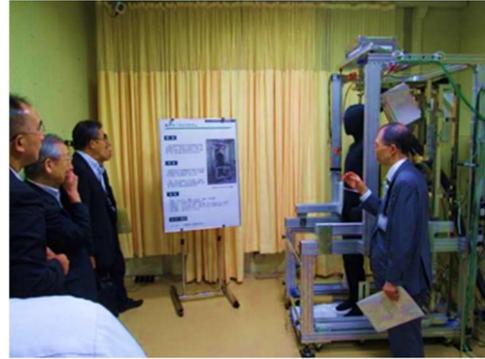
講演



施設紹介



施設見学



施設見学

ウ 第3回セミナー(テーマ:介護補助器具)の開催

介護補助器具分野での研究開発を目指す企業や、同分野への関心がある企業を対象に、講演を実施した。

| | |
|-----|---|
| 日時 | 2月6日(木)午後1時30分～3時30分 |
| 会場 | 富山県民会館 702号室 |
| 参加者 | 32名 |
| 内容 | <p>○講演1</p> <p>演題 福祉用具や介護ロボットの開発・普及に係る施策の動向について</p> <p>講師 (公財)テクノエイド協会 企画部長 五島 清国 氏</p> <p>概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① テクノエイド協会の概要 ② 福祉用具の定義 ③ 介護ロボットの定義 ④ 現状の課題と今後の展開 <p>質疑応答</p> <p>○講演2</p> <p>演題 眠りSCANを中心とした病院や介護施設における見守り機器開発</p> <p>講師 パラマウントベッド(株) 研究開発部次長 田村 純一 氏</p> <p>概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 会社概要 ② 開発経緯 <p>質疑応答</p> |



会場



講演1



講演2

3. コーディネーター等によるコーディネート活動

研究会参加の勧誘を行うとともに、企業間や産学官のマッチングに向けたコーディネート活動を実施した。
訪問企業・団体数／92企業・団体(累計)

4. ニーズ調査

ヘルスケア関連製品開発を進めるため、ヘルスケア産業研究会会員企業(ユーザー側及び機器開発側)への聞き取り調査を行った。

訪問企業・団体数／12企業・団体(累計)

5. 研究開発プロジェクト

産学官オープンイノベーション推進事業

産学官が連携して自社の固有技術シーズを源泉とする、新たなヘルスケア関連商品製品の試作・実証を支援する。

| 企業名 | 研究の名称 |
|----------|-------------------------------|
| 第一編物株式会社 | ナノファイバー模擬皮膚材をベースとしたヘルスケア用品の開発 |
| 株式会社オーギャ | 歩行訓練用ポータブル足裏荷重分布検出センサセットの |

| | |
|-------------|---------------------------|
| | 開発 |
| ライフケア技研株式会社 | ウェアラブル型飲酒による酔いの測定機器に関する研究 |

以上

活動報告書（令和1年度）

とやまヘルスケアコンソーシアム

1. 『とやまヘルスケアコンソーシアム』

産学官による付加価値の高いヘルスケア製品の開発などを通してヘルスケア産業の振興を図ることを目的に2019年12月に設立されました。

2018年10月より活動している「ヘルスケア産業研究会」は中核組織として位置付けられています。

2. 運営体制・活動概要

とやまヘルスケアコンソーシアム

とやまヘルスケアコンソーシアム運営体制

とやまヘルスケアコンソーシアム推進委員会（委員長：富山県知事）

富山大学、富山県立大学、富山県触電工業会、富山県アルミ産業協会、富山県プラスチック工業会、富山県繊維協会、富山県若工労働部、厚生部、富山県新世紀産業機構

ヘルスケア産業研究会（会長：商工労働部長）

①技術・市場動向など情報共有（セミナーの開催）
②現場ニーズの取上げ、市場分析
③地域の実情に応じたニーズ・シーズのマッチング
④ヘルスケア・イノベーションのハブとして機能
⑤コーディネーターによるハンズオン支援
⑥関連する補助金などの紹介

会員企業・機関数58 会員数76名（2022年3月現在）

『快適デザインヘルスケア』をコンセプトに『とやまヘルスケアブランド』の確立を志向する

新たな技術や製品の開発
介護施設や医療機関等の現場ニーズに基づき新たな研究開発プロジェクトの担い起こし → 新技術・新製品開発・新ヘルスケアサービスの開発支援

製品の高付加価値化
現況：製品評価＝「気持ちいい」「暖かい」など・・・感性・五感など主観的な評価 → 感性・五感を可視化
富山県産業技術研究開発センター 生活工学研究所ヘルスケア製品開発棟の先端設備を活用し、快適品質の数値化

◎ 開発支援プロジェクト（産学官イノベーション推進事業 令和2年度委託事業）

1. ヘルスケア製品開発化事業

| 介護補助器具分野 | 繊維・衣料分野 | 健康管理システム分野 |
|---|--|---|
| <p><研究開発の名称> 歩行訓練用ホータル足置荷重分布検出センサセットの開発</p> <p><推進体制> 株式会社オーキヤ 公立大学法人富山県立大学</p> | <p><研究開発の名称> ナノアノバー繊維皮膚材をベースとしたヘルスケア用品の開発</p> <p><推進体制> 第一繊維株式会社 富山県産業技術研究開発センター</p> | <p><研究開発の名称> 膝下緑能スクリーニング装置「拭いてごらん」センサシステムの開発</p> <p><推進体制> 株式会社エクシズ 富山県産業技術研究開発センター</p> |

2. ヘルスケアイノベーション・チャレンジプログラム

医療・介護の現場ニーズに基づきテーマを設定、企業からの公募により利用有視点を製品を開発

| 介護者の負担を軽減できる見守りシステム | 付加価値の高い医療・介護服 |
|--|--|
| <p><研究開発の名称> 画像処理・各種センサ技術を用いた高性能見守りシステムの開発</p> <p><推進体制> 株式会社シキハイテック 富山県産業技術研究開発センター</p> | <p><研究開発の名称> 経編織成技術を用いた効率的な身体負荷軽減につながる介護服の開発</p> <p><推進体制> ケーシア・ワープニット株式会社 富山県産業技術研究開発センター</p> |

3. キックオフシンポジウム

| | |
|-----|--|
| 日時 | 12月3日(火)午後1時30分～3時20分 |
| 会場 | 富山県民会館 バンケットホール |
| 参加者 | 108名 |
| 内容 | <p>○開会挨拶 富山県知事 石井 隆一</p> <p>○講演1 演題 生涯現役社会の実現に向けて 講師 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 総括補佐 大谷 荘史氏</p> <p>概要 ① 経済産業省がヘルスケア産業の育成に関わるポイント ② 課題と目指すべき姿 ③ 健康経営の普及促進 ④ ヘルスケアビジネスの需要創出と経済産業省の支援</p> <p>○講演2 演題 長寿社会における高齢ドライバーのための 福祉車両の発展と展望 講師 株式会社本田技術研究所 オートモービルセンター 主任研究員 五味 哲也氏</p> <p>概要 ① Hondaの福祉車両の取り組み ② 長寿社会の課題 ③ 高齢ドライバーの課題</p> <p>○講演3 演題 ヘルスケアビジネスへの参入事例と事業化のポイント 講師 株式会社NTT データ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット マネージャー 大野 孝司氏</p> <p>概要 ① NTTデータ経営研究所の概要 ② 事業化に向けてのポイント ③ ヘルスケアサービス事例</p> |



会場



開会挨拶



講演1



講演2



講演3

4. ホームページ開設

とやまヘルスケアコンソーシアム設立に伴い、「とやまヘルスケアコンソーシアム」ホームページを開設した。

URL <https://www.tonio.or.jp/health>



以上